

2-6 旧川復元施工計画検討経緯

平成 14 年度までの調査検討経緯

平成 12 年度

河道計画(旧川に徐々に導水する段階的施工)に基づき、旧川出入口箇所での測量・地質調査を実施し、施工計画を立案した。

掘削計画	・導水吐口部のみの簡易掘削のため小型重機を利用する
工事用道路計画	・冬期の凍結を利用する(簡易掘削につき場外搬出なし)
測量調査	・導水、吐口部の平面・縦横断、道路計画路線の縦断
地質調査	・導水部、旧川中央部付近のボーリング調査

平成 13 年度

河道計画の変更(旧川の全断面掘削)をふまえ、掘削、工事用道路計画に加え置土計画の検討を行った。また、置土候補地、工事用進入路候補地の測量・地質調査を行った。

掘削計画	・仮締切によりドライ施工を行い水中掘削土量を軽減する 【課題:濁水処理】
工事用道路計画	・既設茅沼踏切より進入ルートを整備する 【課題:場内掘削運搬路の道路工法】
置土地計画	・旧川河道付近への置土検討 【課題:用地の取得】
測量調査	・旧川河道、既設茅沼踏切からの進入ルートの縦横断測量 ・置土計画地の縦横断測量
地質調査	・置土計画地 2 箇所のボーリング調査

平成 14 年度

平成 13 年度に続き、旧川掘削に伴う施工計画検討を行った(各工種について複数の工法を抽出し長短所を整理した)。また、工事用進入路について調査設計を行い、工事を実施した。

掘削計画	・沈殿地を利用した濁水処理 【課題:水中掘削土の処理方法】
工事用道路計画	・植生分布地を配慮した場内運搬路ルート検討 ・積雪を利用した冬期の道路工法 【課題:施工後の道路の有効利用】
置土地計画	・運搬搬出を原則とする 【課題:河川事業への再利用、地域計画への有効利用】
測量調査	・左岸進入路(町道)
工事	・左岸進入路整備(町道) ・旧川仮設横断管渠工整備